

# 平成24年度施政方針

# 町田市の未来をつくる



町田市長 石阪 文一

平成24年(2012年)第1回市議会定例会が開会され、石阪市長は3月1日の本会議で施政方針を表明しました。

ここでは、その概要を掲載します。全文は町田市ホームページでご覧いただけます。  
企画政策課 ☎724・2103 FAX724・3072

## 2012年度の 市政運営の視点

少子高齢社会の進展にともない、国民健康保険、後期高齢者医療保険などの社会保障費が増加し続けており、保険料によって運営すべきこれらの予算に、毎年一般会計予算から多額の繰り入れをしなければならぬ状況にあります。国からの財源移譲が期待できない現状では、負担のあり方に関する議論は避けて通れない課題となっております。

また、2008年のリーマンショック以降、低迷を続ける経済状況は、雇用環境の悪化、所得の伸び悩みなど、市民生活に大きな影を落としており、市税収入も減少しております。

さらに、昨年の東日本大震災に端を発した放射能や電力不足などの問題が、わが国全

体に大きな影響を及ぼしている。このようなきまざまな状況の変化を踏まえ、昨年12月



建設が進む新しい市役所

に、将来の町田市のあるべき姿を見据え、何を目標にどのようにまちづくりを進めていくのかを示す町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」と、その実行計画である「町田市新5ヵ年計画」を策定しました。

そこで、計画の初年度となる2012年度の市政運営の視点を「町田市の未来をつくる」とし、計画の実現に向けて着実な一歩を踏み出すよう全力で取り組んでまいります。

## 2012年度の 重要な取り組み

### まちだ未来づくり プロジェクト

将来の町田市のあるべき姿を実現し、都市の魅力を高めるため、町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」の推進において先導的な役割を果た



新しい市役所1階のワンストップロビー

は、このまちの強みと、市民生活をより充実させるための要素とを結び、10年を超える長期的な視点に立って取り組みを進めます。また、各プロジェクトでは、特に重要な取り組みを戦略として位置付け、目指すべき方向を明らかにしていきます。この戦略を軸に、関連す



清掃工場

たす未来づくりプロジェクトを設定しました。この未来づくりプロジェクトは、「地域社会づくりを基本とするまちづくりプロジェクト」、「町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト」、「団地再生に向けたプロジェクト」、「みどりを活用したまちづくりを推進するプロジェクト」、そして「基幹交通機能を強化するプロジェクト」の5つのプロジェクトからなります。

## 新しい市役所の 開庁

本年7月17日の開庁を目指し、森野二丁目、町田市民ホール横に新しい市役所の建設を進めております。現在、10を超える民間ビルなどに分散している市役所の庁舎を1か所に統合することで、利便性が格段に向上し、分庁舎の借り上げ料など、年間約6億円の経費削減効果が見込まれます。

新しい市役所では、1階ロビーで総合案内係が市民の皆さんをお迎えし、的確に分かりやすく案内をすることも、窓口間の連携を円滑にします。また、優れた耐震構造を備え、防災・災害復興拠点としての機能も充実しており、市民の皆さんの安全を守る体制をこれまで以上に強化していきます。さらに、市民協働のシンボルとして、市民の皆さんと市が協働で活動できるスペース

でのさまざまなイベントや、花づくりを協働で行う屋上花畑などの取り組みを進めてまいります。

## 資源循環型施設 の建設

一般廃棄物、いわゆる産業廃棄物を除いたごみの収集、運搬及び処分は市民生活に不可欠な事業であることから、市町村が行う事務と位置づけられ、市民の皆さんと協働で取り組むことが求められています。

町田市の清掃工場は、運転開始から30年が経過し、施設の老朽化が進み、毎年、多額の修繕費を要しており、新たな施設への転換が必要な状況となっております。また、環境面から見ても、現在の清掃工場から排出されているCO2を大幅に削減する必要があります。

そこで、一般廃棄物資源化基本計画に基づき、より効率の高い熱回収機能を備えた清掃工場と、プラスチックごみや生ごみなどを再資源化する施設について、その規模や機能及び建設予定地を2012年度中に決定いたします。

## むすびこ

現在、東日本大震災からの復興に向けて、被災地をはじめ日本全体が一丸となって取り組みを進めております。町田市におきましても、職員の派遣や再生自転車の提供など被災地のニーズに応じた支援を引き続き行い、復興へ尽力してまいります。

一方、町田市では、市内経済の活性化や医療、福祉のニーズへの対応などの多くの課題に直面しております。これらの課題は市民と市が力を合わせなければ解決できないものです。

私は、こうした課題を解決するためには、市民の皆さんと情報や課題を共有し、共通の認識に立って議論を重ね、ともに行動することが大切であると考えております。そのため、市長就任以来、わかりやすい情報の提供を進め、情報、課題の共有の基盤づくりに努めてまいりました。特に町田市市民生活連絡会や各地域で開催している市政懇談会などの充実を図り、直接対話をさせていただく取り組みを重視しております。今後も、その基盤をさらに強いものとし、市民とともにまちづくりを進めてまいります。そして、市民、団体、事業者と協働して町田市という都市を営む「市民協働型都市」を確立したいと考えています。

市民の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 市政懇談会



市政懇談会